

県下一斉安全パトロール等を実施 ～4年連続で労働災害死傷者が増加しています～

全国安全週間(7月1日～7月7日)中の労働災害防止活動として、赤川砂防出張所では、7月2日に安全パトロールを行いました。

工事現場の安全点検と作業計画書・建設機械作業計画書の内容確認を主な目的として実施したところ、消火器設置の明示のない箇所や、**熱中症対策**が不十分と思われる箇所等がありましたので、至急改善対応をとってもらいました。

また、全国安全週間中において、受注会社もそれぞれ、経営トップによる安全所信表明や安全教育の実施などの労働災害防止活動を行いました。

高所作業中の墜落・転落防止対策の徹底や、**特に熱中症予防対策の重点的実施**により事故発生防止に努めましょう。



作業計画書の内容確認



工事現場の安全点検



墜落防止(ハーネス安全帯)の講習

●用語解説:暑さ指数(WBGT値)

暑さ指数とは、人体と外気との熱のやりとりに着目した指数で、人体の熱収支に与える影響の大きい

- ①湿度
- ②日射・輻射など周辺の熱環境
- ③気温

の3つの観測値から表されます。

25～28が警戒。31を超えると危険とされますが、暑さになれていない人の場合や作業内容、服装により警戒値はさらに下がりますので注意が必要です。

参考ですが、日射が無い屋内の場合で外気温25度でも湿度が75%あると暑さ指数が25の警戒になります。

詳しくは、「厚生労働省HPの『熱中症予防対策』」等をご覧ください。



暑さ指数による熱中症対策

「全国安全週間」にあたって
社長メッセージ

みなさん、毎日の仕事ご苦労様です。
今年はいかなでつなぎ 高まる暑熱 達成しよせつ災害をスローガンに、7月1日から7日まで全国安全週間で実施されます。
この週間は働く人すべてが、安全で健康に働けることを願い、昭和3年から一度も中断することなく、毎年続けられている行事です。

当社においては、日頃から災害の無い明るい職場を目指し、作業現場のみならず、すべての職場が安全管理について関与することとし、みなさんと共に安全活動に取り組んでおります。

しかしながら、昨年は休業4日以上の災害が2件、不休業災害が4件発生しており、無災害達成には遠いことを思い知らされております。
スローガンにあるように一人ひとりが安全意識を高め、現場にいる関係者全員が安全対策の実行者として、その役割を自覚していただきたい。

私どもの事業を継続していくためには、労働災害対策をはじめとする交通安全対策等も欠かせません。
労働災害対策、交通安全運動についてもさらにすすめ、この安全週間に契機に、いま一度職場に潜む作業の危険性(リスク)を洗い出し、改善を進め安全性を向上させ、災害のない健康で明るい職場づくりを進めていきたいと思います。

平成26年7月1日
代表取締役 社長

経営トップによる安全への所信表明